

## 2018年 秋のオークション報告

日本ブランドに人気集まる  
山崎 50年、約1,750万円

## 全ロット落札！ 伸長続くウイスキー市場

世界的なウイスキーブームに先駆け、日本国内のウイスキー大手各社は相次いで蒸溜所を増強。日本からの輸出金額は10年前の約11.3倍と大きく増加しました。また、ウイスキーはリーマンショックの際も価値が下がらず、資産防衛的な側面も持ち合わせていることから、香港を含む中華圏のコレクターによる嗜好品投資のひとつとして活発に取引されている。今季、日本のコレクターから出品された、保存状態の良いヴィンテージワイン8ロットに加え、極めて高い希少価値を持つウイスキー12ロットが初登場、全20ロット全て落札という好成績をおさめ、投資先を探している市場の資金が流れてくるひとつの行先として、ウイスキー市場の拡大と手応えを感じた。



シングルカスクウイスキー山崎蒸留所  
ウイスキーづくり60年謝恩の会

シングルカスクも  
下値の10倍超

11月24日開催ウイスキー&ヴィンテージワインセールの最初を飾ったサントリーシングルモルトウイスキー「山崎50年」。出品が確定するや否や問い合わせが相次いだ1本は、121万香港ドル(約1,750万円)で落札。続く「サントリーシングルカスクウイスキー山崎蒸留所 ウイスキーづくり60年謝恩の会」。非売品として製造され、市場に出るのは極めて稀である。事前の注目度が最も高く、複数のウイスキー愛好家のパドルが次々に上がり、3万~5万香港ドルの落札予想価格に対して下値の10倍を超える30万2,500香港ドル(約440万円)の高値で落札。

九谷焼、有田焼、織部焼などのオリジナルウイスキーボトルに響21年や白州が詰められたサントリーボトルコレクションは重なった事前入札と電話ビッドで、そのほとんどが上値を超える価格で落札された。スコッチウイスキーから50年熟成の「バルヴェニー」は、証明書とともにオリジナルの木箱に収められた限定600本のうちの1本が出品され、22万9,900香港ドル(約330万円)の高値で落札された。



サントリー「山崎50年」2011年発売 150本限定

## ヴィンテージワインにも期待

ヴィンテージワインは、ロマネ・コンティをはじめとするラ・ターシュ、シャトー・ムートンなど厳選されたヴィンテージワイン8ロットが日本人コレクターから出品された。日本人のコレクションは保存状態がよいと人気が高く結果的にすべて香港の愛好家により落札。競り合うビッターは主に香港、中国といった中華圏同士の競り合いだったことは興味深い。ウイスキーに至っては、ハイエンド消費者の増加およびウイスキー知識の普及によって、ウイスキーが徐々に浸透、中国スピリッツ市場に占めるウイスキーの量も明確に増加している。特に都市部の若い富裕層を中心に人気があり極めて猛スピードで発展。今後ますます市場が拡大することが確実視されている。エスト・ウェストでは引き続きウイスキー&ワイン市場の動向に注視していきたい。

\* 日本円は1香港ドルを14.43円とした参考価格



ロマネ・コンティ